



Japan Society for Bioscience,  
Biotechnology, and Agrochemistry

2014.11

# 会告

カレンダー・・・K-1  
お知らせ・・・K-3  
支部だより・・・K-5

## CALENDAR カレンダー

会  
告

期日	講演・会合等名称(会場)、《共催等》、太字=本会関連
<b>2014年(平成26年)</b>	
11/1(土)	生物発光化学発光研究会第31回学術講演会(信州大)《協賛》
11/2(日)	世界結晶年(IYCr)記念講演会(東大)《協賛》
11/4(火)	第11回日本たまご研究会(Egg Science Forum 2014)(京女大)《後援》
11/4(火)	第61回界面科学部会秋季セミナー(東京)《協賛》
11/4~5(火~水)	第55回機器分析講習会第3コース「MSの分析化学への活用に関する基礎講座」(東京)《協賛》
11/4~6(火~木)	第53回NMR討論会(阪大)《共催》
11/6~7(木~金)	第13回食品レオロジー講習会—初心者のための実習と基礎—(仮題)(東大)《協賛》
11/6~7(木~金)	第106回有機合成シンポジウム(早稲田大)《共催》
11/7(金)	IIRS創立十周年記念学術講演会(東大)《後援》
11/7~8(金~土)	第19回静岡健康・長寿学術フォーラム(沼津)《後援》
11/7~8(金~土)	第24回日本メイラード学会年会(熊本)
11/7~9(金~日)	サイエンスアゴラ2014(東京)《協賛》
11/8(土)	日本ラクトフェリン学会第6回国学術集会(つくば)
11/8~9(土~日)	第19回日本フードファクター学会(JSoFF 2014)(鹿児島大)
11/8~9(土~日)	第8回日本アミノ酸学会学術大会(東農大)
11/10(月)	第31回医用高分子研究会講座～バイオイメージング・マニピュレーションと高分子～(東京)《協賛》
11/11(火)	2014年度オレオマテリアル部会(関東支部)セミナー(東京理科大)《協賛》
11/12~14(水~金)	アグロ・イノベーション2014(東京)《協賛》
11/13~14(木~金)	第42回構造活性相関シンポジウム(熊本)《後援》
11/14(金)	日本希土類学会第32回講演会(東京)《協賛》
11/14~15(金~土)	第47回酸化反応討論会(崇城大)《共催》
11/15(土)	第4回食と生命のサイエンス・フォーラム「子どもの肥満と食育-広がる健康対策の成果をたどる」(東大)《後援》
11/15~16(土~日)	第14回糸状菌分子生物学コンファレンス(東北大)
11/17~19(月~水)	第8回日本電磁波エネルギー応用学会シンポジウム(高知)《協賛》
11/18~21(火~金)	ニューメンブレンテクノロジーシンポジウム2014(東京)《協賛》
11/20~21(木~金)	平成26年度後期(秋季)有機合成化学講習会(東京)《共催》
11/21(金)	日本農芸化学会関東支部若手発案企画 第2回天然物化学研究会「天然物化学の最前線を知る」(東農大)
<b>11/22(土)</b>	<b>日本農芸化学会創立90周年・中部支部創立60周年記念日本農芸化学会中部支部第172回例会(信州大)</b>
11/22~24(土~月)	第55回高压討論会(徳島大)《協賛》
11/24~26(月~水)	アジア環境化学国際会議(International Conference of Asian Environmental Chemistry 2014)(タイ)《後援》
11/27~28(木~金)	第37回情報化学討論会(豊橋)《共催》
11/27~29(木~土)	第41回有機典型元素化学討論会(宇都)《共催》
<b>11/29(土)</b>	<b>2014年度第2回日本農芸化学会関東支部例会受賞講演・シンポジウム「ユニークな酵素の研究の最前線」(東工大)</b>
12/5(金)	日本乳酸菌学会2014年度秋期セミナー 酢酸菌研究会第6回研究集会 合同シンポジウム「乳酸菌・酢酸菌の生存戦略と産業利用」(日大)

期 日	講演・会合等名称（会場）、《共催等》、太字＝本会関連
12/5~6（金～土）	文部科学省科学研究費補助金（研究領域提案型）「生合成マシンナリー：生物活性物質構造多样性創出システムの解明と制御」（平成22年～26年度）第8回公開シンポジウム（東大）《後援》
<b>12/6（土）</b>	<b>日本農芸化学会関西支部例会（第487回講演会）（神戸大）</b>
12/8~9（月～火）	第14回基準油脂分析試験法セミナー—油脂・脂質分析の基礎から食品の分析まで—（東京）《協賛》
12/8~10（月～水）	第41回炭素材料学会年会（福岡）《協賛》
12/11（木）	理研シンポジウム「第15回 分析・解析技術と化学の最先端」（和光）《協賛》
12/11~13（木～土）	日本生体エネルギー研究会第40回討論会（愛媛）
12/13（土）	第51回好塩微生物研究会（近畿大）
12/17~19（水～金）	Active Enzyme Molecule 2014（富山）《後援》
<b>2015年（平成27年）</b>	
1/10（土）	第20回高専シンポジウムin函館（函館工業高専）《協賛》
1/11~14（日～水）	Natural Products 2015—Natural Product Discovery & Development in the Post Genomic Era 2015—（アメリカ）
1/19~20（月～火）	第26回高分子ゲル研究討論会（東大）《協賛》
1/22~23（木～金）	H26KAST 教育講座「糖鎖科学・糖鎖工学の基礎から応用」コース（川崎）《後援》
<b>1/24（土）</b>	<b>学会創立90周年記念日本農芸化学会中四国支部第41回講演会（例会）（水産大学校）</b>
<b>3/26~29（木～日）</b>	<b>日本農芸化学会2015年度（岡山）大会（岡山、岡山大）</b>
5/14~18（木～月）	第12回アジア栄養学会議（The 12th Asian Congress of Nutrition）(ACN2015)（横浜）《後援》
6/23~25（火～木）	International Scientific Conference on Probiotics and Prebiotics-IPC2015（ハンガリー）

### メールアドレス登録のお願い

本会では、マーリングシステムとWEBによる会員名簿の整備を進めております。このシステムのいっそうの充実を図るため、会員の皆様方にはメールアドレスのご登録をお願いしたいと存じます。

本会庶務係 (shomu@jsbba.or.jp) まで、氏名、登録用メールア

ドレスをお送り下さいますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

会員情報システムを通じて登録、閲覧される情報はSSL暗号化通信によって外部からの盗聴を防いでおります。

# 農芸化学会 からの お知らせ

本会告ページは、「化学と生物」2015年1月から掲載を停止いたします。1月以降の会告につきましては、本会ホームページに掲載いたしますので、そちらをご覧くださいますようお願い申し上げます。

## 学生会費の減額・会誌の刊行にかかる重要なお知らせ

会員の皆さまへ

公益社団法人日本農芸化学会  
会長 清水 誠

このたび日本農芸化学会は、2014年度に引き続き、**2015年度よりの学生会費のさらなる減額を決定いたしました**。また、和文誌の発行形態の変更に伴い、**和文誌冊子体購読希望者の募集を行います**のでお知らせいたします。

なお、手続きの簡便化や事務費削減をさらに図るため、会費の納入方法についての希望調査を実施いたします。

本学会の更なる発展のため、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 記

#### ① 学生会費の減額

学生会員の負担を軽減するとともに学生会員の増加を期待して、学生会費（2015年度～）を減額いたします。来春卒業または大学院修了予定の方は（3月までに会費納入の場合）、次年度分会費として改定後の学生会員費（3,000円）が適応されます。

なお、2015年度会費の請求は2015年度大会の参加登録時期（11月4日～）にあわせて行います。

##### （1）改定する会費の対象と金額

対象	現在の会費	2015年度からの会費
学生会員	4,000円	3,000円 (1,000円値下げ)

##### （2）会費の請求時期

現在	2015年度より
11月：WEB決済	11月：WEB決済、口座引落、
12月：口座引落、 郵便振替用紙	郵便振替用紙

#### ② 和文誌「化学と生物」冊子体の年間購読

すでにお知らせいたしておりますように2015年度より「化学と生物」は基本的には現行の冊子体版からオンライン版中心に移行いたします。会員の皆さまは無償にてオンライン版を閲覧いただくことができますが、下記年間購読

料を別途納入していただくことで「化学と生物」冊子体も年間購読することができます。冊子体ご希望の方は、学会事務局から配信される冊子体購読希望調査に希望の有無をご回答ください。購読者登録の受付は8月上旬から開始いたしました。

なお、すでにお知らせしたとおり、「化学と生物」オンラインは、2014年5月より、試行版の公開を始めております。会員の皆さまには個人／法人マイページにおいて、冊子体発行日に先立ち、オンライン版を早期閲覧することが可能となっておりますので、オンラインもぜひ便利にご利用ください。

##### （1）年間購読料

対象	料金
一般会員、教育会員、学生会員、国外在住会員	2,000円（3月号～2月号の年12冊分）
	※1冊あたりの書店通常購入価格 1,296円

#### ③ 会費の納入方法調査

各種事務手続き変更の煩雑さを解消し、事務費削減を図るため、会費の納入方法についても調査を実施いたします。

上記②和文誌「化学と生物」冊子体の年間購読希望調査とあわせて実施いたしますので、何卒ご協力をお願い申し上げます。

以上

## 本会推薦による賞・助成金情報

現在、本会では下記の賞・助成金の本会推薦候補者を募集しています。適任者がおられましたら奮ってご応募ください。本会授賞選考委員会で選考し、推薦いたします。

賞・助成の詳細につきましては、当募集団体ホームページをご覧ください。

また、本会ホームページの賞・助成金情

報 (<http://www.jsbba.or.jp/info/grant/>)  
もご覧ください。

**【賞】**

○飯島藤十郎食品科学賞 (11/5締切)

○飯島藤十郎食品技術賞 (11/5締切)

○平成26年度森永奉仕会賞 (11/28締切)

**【助成】**

○平成26年度森永奉仕会研究奨励金

(11/28締切)

○(公財)山田科学振興財団2015年度研究援助 (2015/1/30締切)

《問合せ・応募先》〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル内

日本農芸化学会事務局授賞係

Tel. 03-3811-8789, Fax. 03-3815-1920

E-mail: shomu@jsbba.or.jp

## 第65回国際会議出席費補助金交付候補者募集要項

**対 象**：海外で開かれる農芸化学諸分野の国際会議出席希望者。ただし、2015年4月1日から2015年9月30日までに開かれる国際会議で発表を予定している方。

**補助金の金額**：1件20万円以内、4件程度（総額80万円）

**応募方法**：所定の申請書に必要事項を記入のうえ、当財団宛てに郵便にてご送付く

ださい。

※申請には必ず会議での発表予定論文の要旨および招請状を添付してください（要旨は英文、和文いずれも可。コピー可）。用紙はA4判を用いること。

**応募の締切**：2015年1月31日（土）当日消印有効

**補助金の交付**：2015年3月

**応募先・申請書請求先**：〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル2階 公益財団法人農芸化学研究奨励会事務局

Tel. 03-3811-8789, Fax. 03-3815-1920

E-mail: acrf\_info@jsbba.or.jp

## 小学校・中学校・高等学校への出前授業募集

このたび、本会広報委員会では、小学校・中学校・高等学校への出前授業を開始いたします。学校関係者の皆さま、たくさんのご応募をお待ち申し上げます。

**趣 旨**：日本農芸化学会の会員（科学者や知識人など）が、講師として小・中・高等学校へ出向き、農芸化学（動物・植物・微生物の生命現象、生物が生産する物質、食品と健康などを化学的な考え方に基づき研究する学問）にかかる授業を、最先端の研究内容の紹介などを含め

ながら、講義・実験・演習を通して有意義に学びます。

**授業対象**：小学生・中学生・高校生、教員の団体ほか

**付帯事項**：講師派遣料は本会負担（ただし必要な備品などはご準備いただきます）

**授業時間**：1~2コマ授業（1コマ45分）

**授業形態**：クラス単位（複数クラス可）

**対象地区**：日本全国（北海道、東北、関東、中部、近畿、中国四国、九州地区）

**申込方法**：申請書を郵送またはメール添付

（PDF）にてお申込みください。申請書受付後、本会で調整し、派遣講師と授業内容をお知らせします。

**申請書請求・問合せ先**：日本農芸化学会事務局広報係 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル2階

Tel. 03-3811-8789

E-mail: soumu@jsbba.or.jp

**その他**：申込多数の場合は個別に相談のうえ、適宜実施させていただきます。

## 会費の領収書について

会費の領収書は本会ホームページの会員Mypage (<https://jsbba.bioweb.ne.jp/mypage/>) からダウンロードできます。領

収書をご入用の方は、上記ページにログインし、ご自身の会費領収書をダウンロードしてくださいようお願いいたします。

**問合せ先**：日本農芸化学会事務局会員係 東京都文京区弥生2-4-16 学会セン

タービル2F

Tel. 03-5803-9561

E-mail: kaiin@jsbba.or.jp

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆  
**新入会・登録情報変更などのURLについて**

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆  
新規入会、登録情報確認・変更のURLは下記のとおりです。

登録情報を確認、変更される場合、会員ID（会員番号）とパスワードが必要です。

ご登録いただきました会員データに基づき学会誌の発送、会費・購読料の請求を

行っておりますが、登録データは外部に漏れることがないよう十分注意を払っております。

会員登録の変更につきましては、Web上では変更できない個所も定めておりますので、E-mailまたはFaxでも受け付けております。

この際、登録内容をご確認いただき、E-mailなどご登録いただいたないようでしたら是非ご登録下さいようご協力く

ださい。

[日本農芸化学会ホームページURL]

<http://www.jsbba.or.jp/>

なお、パスワードを紛失された場合は「パスワード再発行」を行ってください。取得されたパスワードを独自のパスワードに変更する場合は「パスワードの変更」で手続きすることができます。

**《事務局会員係》** Tel. 03-5803-9561, Fax. 03-5803-9562, E-mail: kaiin@jsbba.or.jp



## 支部だより

2014年度(平成26年)

日本農芸化学会

### 西日本支部奨励賞候補者募集

日本農芸化学会西日本支部では、本年度におきましても農芸化学の進歩に寄与した研究を顕彰する西日本支部奨励賞（一般；1件、学生；1件）を公募いたします。奮ってご応募ください。応募資格・応募方法・応募申請書につきましては、支部ホームページ（<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/jsbba-west>）でご確認ください。

応募締切：2014年（平成26年）11月7日（金）まで。

応募書類提出先：〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1 九州大学大学院農学研究院生物化学分野内

日本農芸化学会西日本支部

Tel. & Fax. 092-642-2854 (庶務幹事：角田佳充)

### 日本農芸化学会創立90周年・中部支部創立60周年記念

日本農芸化学会中部支部

#### 第172回例会

若手シンポジウム

#### 『化学の視点から拓く天然物・生命科学研究』

日時：2014年11月22日（土）13:15～

会場：信州大学農学部（南箕輪キャンパス）30番講義室（総合実験実習棟2階）

プログラム：「香気寄与成分同定の戦略と方法—ユズとコーヒーの香りを中心に—」

宮里博成（長岡香料株式会社）、「青枯病菌の病原力と二次代謝を制御するクオラムセンシングシグナル分子」甲斐建次（大阪府立大学大学院生命環境科学研究科）、「異常アミノ酸含有環状ペプチド誘導体の合成と構造活性相関」今野博行（山形大学大学院理工学研究科）、「アミロイドβを標的とし

たアルツハイマー病の新しい治療戦略」村上一馬（京都大学大学院農学研究科）、懇親会  
詳細は支部ホームページ (<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~jsbba>) をご覧ください。  
問合せ先：藤田智之（信州大学大学院農学研究科）

〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村8304

Tel. & Fax. 0265-77-1600

E-mail: [tfujita@shinshu-u.ac.jp](mailto:tfujita@shinshu-u.ac.jp)

### 2014年度第2回 日本農芸化学会関東支部例会 受賞講演・シンポジウム 「ユニークな酵素の研究の最前線」

日時：2014年11月29日（土）13:00～

会場：東京工業大学すずかけ台キャンパス  
すずかけホール3階多目的ホール  
(〒226-8501 横浜市緑区長津田町4259)

交通：東急田園都市線すずかけ台駅徒歩5分

プログラム：【受賞講演】農芸化学奨励賞：tRNA転写後修飾メカニズムの分子的基盤解明（沼田倫征（産総研）），【シンポジウム】可逆的脱炭酸酵素を利用した酵素的Kolbe-Schmitt反応による有用芳香族化合物の生産（桐村光太郎（早稲田大）），高度好塞性古細菌のカロテノイド生合成に関わる酵素群（八波利恵（東工大）），生体触媒を活用した生理活性化合物の合成（庄司満（慶應義塾大）），ユニークな環境下での酵素の産業利用（廣瀬芳彦（天野エンザイム（株））

参加費：無料（懇親会1,000円、学生500円）詳細は関東支部ホームページ (<http://www.jsbba-kanto.jp>) をご覧ください。

問合せ先：東京工業大学

生命理工学研究科 松田知子

E-mail: [tmatsuda@bio.titech.ac.jp](mailto:tmatsuda@bio.titech.ac.jp)

### 日本農芸化学会関西支部例会 (第487回講演会)

開催日：2014年12月6日（土）

会場：場所：神戸大学農学部（神戸市灘区

六甲台町1-1）

プログラム：一般講演、特別講演「ヘリコバクターピロリ感染と胃がん」（東 健、神戸大学医学研究科），2014年度日本農芸化学会功績賞受賞講演「食品製造における速度過程が関与する現象の工学的解析」（安達修二、京都大学農学研究科）

懇親会：講演会終了後「さくら」にて開催

問合せ先：神戸大学大学院農学研究科 水谷正治（078-803-5885）

E-mail: [mizutani@gold.kobe-u.ac.jp](mailto:mizutani@gold.kobe-u.ac.jp)

詳細は <http://www.kansai-jsbba.jp/> をご覧ください。

### 学会創立90周年記念 日本農芸化学会中四国支部 第41回講演会（例会）

開催日：2015年1月24日（土）

会場：水産大学校（〒759-6595 山口県下関市永田本町2丁目7-1）

プログラム：受賞講演、ミニシンポジウム、一般講演

2014年度農芸化学奨励賞受賞講演：鈴木卓弥（広島大院・生物圈）、ミニシンポジウム：『農芸化学によって拓かれる水産の未来』、シンポジスト：赤壁善彦（山口大・農）、池原 強（水大校・食品科学）、杉浦義正（水大校・食品科学）、福田 翼（水大校・食品科学）

講演申込締切：2014年12月22日（月）

講演要旨締切：2015年1月5日（月）

講演申込、要旨提出先専用アドレス：[jsbba2@net-s.ne.jp](mailto:jsbba2@net-s.ne.jp)

懇親会：講演会終了後、下関春帆樓本店にて開催（送迎バスあり）、会費正会員8,000円（学生4,000円）（予定）

世話人：（独）水産大学校食品科学科 原田和樹

問合せ・懇親会申込先：（独）水産大学校食品科学科 白井将勝

Tel. 083-286-5111（代表）

E-mail: [usuim@fish-u.ac.jp](mailto:usuim@fish-u.ac.jp)

なお詳細は支部ホームページ

<http://jsbba-cs.jp/> をご覧ください。